

海部地区環境事務組合地球温暖化対策実行計画の実施状況について

1 令和 7 年度の温室効果ガスの排出量

令和 7 年度に海部地区環境事務組合から排出された温室効果ガスの排出量は表 1 のとおりである。

令和 7 年度に海部地区環境事務組合から排出された温室効果ガス排出量のうち、エネルギー起源は 243t-CO₂、非エネルギー起源は 20,329t-CO₂ となり、削減目標の基準年度である平成 25 年度と比較し、エネルギー起源は 92.5%、非エネルギー起源は 20.4%の削減となり、令和 7 年度の削減目標を達成できなかった。

また、令和 7 年度の温室効果ガス排出量の合計は 20,572t-CO₂ となり、平成 25 年度の排出量 28,767t-CO₂ と比較すると 8,195t-CO₂、28.5%の削減となった。

現段階で 2030 年度の目標値を達成していないため、引き続き、海部地区環境事務組合地球温暖化対策実行計画に基づき、電気使用量や燃料使用量の削減だけでなく、省資源や職員・見学者の意識の向上、ごみの削減や分別に関する住民への啓発等の取り組みを進めていく。

表 1 温室効果ガス排出量の実績及び基準年度との比較

	H25 (2013)	R7 (2025)		R8 (2026)	R9 (2027)	R12 (2030)
		目標	実績	目標	目標	最終目標
エネルギー 起源(t-CO ₂)	3,240	227	243	214	201	162
削減率(%)	0	93.0	92.5	93.4	93.8	95
非エネルギー 起源(t-CO ₂)	25,528	17,870	20,329	17,742	17,614	17,231
削減率(%)	0	30.0	20.4	30.5	31.0	32.5

※ 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正により、令和 5 年度の算定から排出係数・地球温暖化係数が変更された。

参考
総排出目標

	H25 (2013)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)		R12 (2030)
		実績	実績	実績	目標	目標
組合合計 (t-CO ₂)	28,767	18,643	18,294	20,572	18,097	17,393
削減率(%)	0	35.2	36.4	28.5	37.1	39.5

2 温室効果ガス排出量の増減状況

令和7年度の温室効果ガス総排出量は令和6年度よりも増加している。

エネルギー起源温室効果ガスの内訳は表2のとおりである。電力由来はCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源に由来する電気(CO₂フリー電力)のため、温室効果ガス排出量は0となる。エネルギー起源の温室効果ガス排出量は令和6年度から7年度にかけてほぼ横ばいであった。

表2 エネルギー起源温室効果ガスの内訳 (t-CO₂)

		R5	R6	R7
八穂クリーンセンター	電力由来	38	0	0
	電力以外	198	236	239
新開センター	電力由来	180	0	0
	電力以外	2	3	2
上野センター	電力由来	127	0	0
	電力以外	2	2	2